

呼吸器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「原発性肺癌における臨床病期別の外科治療の予後に関する検討」への協力をお願い。

(研究期間：倫理審査委員会承認日～2027. 5. 31)

当院呼吸器外科では原発性肺癌に対する外科治療を行っております。原発性肺癌の治療方針は臨床病期分類をもとに決定されていますが、同じ病期でありながらも予後に差がみられることもあり、現在もその要因となりうる因子の研究がなされています。その原因を解明するためには後ろ向き研究（今までの臨床データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を見させていただく研究）が非常に重要です。それゆえ、当科を受診された患者さんの以前のデータを解析いたします。対象となるデータは、診療録（問診や診療所見など）、投薬内容、疾患名、手術内容（術式、手術時間、出血量など）、検査結果（血液検査、尿検査など）、生理検査（心電図検査、心臓超音波検査、呼吸機能検査など）、画像検査（一般X線検査、CT検査、MRI検査など）、各種臨床評価指標、病理検査、日常診療において行われているデータで対象期間は2004年6月から2025年12月末までです。

この研究は、過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報情報は匿名させていただき、その保護には十分に配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しても、個人の特定が可能な情報は全て削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思います。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。この研究から生じる知的財産は研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

2026年 3月 4日

連絡先：岐阜大学医学部附属病院 呼吸器外科 小室裕康

電話：058-230-6000（内線 6325）